

CHRISTOPHER MEYER

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- British Ambassador to the United States 1997–2003



Christopher Meyer 卿はイギリス外交院で37年間過ごしました。彼のキャリアは、1997年から2003年の間にビル・クリントン大統領とジョージWブッシュ大統領の間にアメリカへの大使として最高潮に達しました。彼は第二次世界大戦以来アメリカで最も奉仕のイギリス大使になりました。9/11、コソボ、シエラレオネ、アフガニスタンでの戦争、そしてイラクでの戦争の準備と一致した。

以前は彼はドイツの大使であり、かつてのソビエト連邦、スペイン、そしてブリュッセルの欧州連合への投稿をしていました。彼はまた、ジョン・メジャー首相の記者秘書、外務長官の記者秘書、故ハウ卿、そして3人の外務長官、ジェームズ・キャラガン、アンソニー・クロスランド、そしてデビッド・オーウェンの演説家でもありました。

2003年に外交部から退職した後、クリストファー卿は2009年3月までの6年間、プレスクレーム委員会の議長を務めました。

2005年に彼は外交奉仕における彼の時間の回顧録『DC機密』を発表しました。更なる本、冒険と陰謀の500年：イギリス外交の内部物語は、2009年に出版されました、そして『BBC4のための3部構成のテレビシリーズ』を伴いました。2012年に彼はSky AtlanticのNetworks of Powerの6部構成のテレビドキュメンタリーシリーズを発表し、共同執筆しました。2016年初頭に彼はBBC2のためにInside The War Room『第3次世界大戦』に出演し、その研究を助けました。

2013年に彼はAmazon Kindleシングルとして個人的な回想録『Only Child』を発行しました。

Sir Christopherは、ケンブリッジ大学のPeterhouseの名誉研究員で、ロンドンのRoyal United Services Instituteの上級研究員です。

彼はArbuthnot Banking Groupの非常勤取締役で、広報会社であるPagefieldの諮問委員会の会長です。彼は英米ビジネス諮問委員会の委員であり、ロンドン市のフリーマンであり『Worshipful Company of Stationers』のメンバーです。

Topics

- Diplomacy
- Politics